和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第２１号
2020年1月30日

2019年度◆SGH海外研修◆
カナダ研修 その２

2019年10月27日 ～ 11月1日

テーマ「移民」

２年５組　古部　了大

研修を通じて、自分から何事にも積極的に取り組もうとする精神が養われた。英語圏のカナダでは身の回りに日本語は無いに等しく、全ての情報は英語で入ってくる。そんな社会の中で、相手が何を伝えようとしているのか聞き取り、また、質問や自分の意見をしっかりと述べることの重要性を感じた。自分から意見や質問を述べる、先生の指示を受けるだけではないという姿勢は、協働学修の際、現地の高校生からも感じられた。ディスカッションの時間でも、生徒さんたちは皆、自分の持つ意見と信念をぶつけてくださった。逆に、自分たちはその意見を受け入れて更に発展させる積極的な会話力が追いついていないことも感じさせられた。

和歌山県人会の方からは、拙い英語であっても伝えたいことはその気持ち次第で相手に伝わるということを教わった。移民として異国の地に渡り、様々なご苦労のほか言語の面でも大きな壁を経験された皆さんのお言葉は、僕の考え方を大きく変える影響力のあるものだった。

インタビューは、日本にいてもなかなか行うことはない。初めは戸惑いと不安があったが、断られてもめげずに、積極的に話しかけに行こうとする心持ちが生まれた。また、自分たち８人でノルマを設定し、それを皆で団結して達成しようとしたことが自主研修の成功につながったと思う。目標設定、それをチームで達成しようとする重要性と、その結果得られる達成感の素晴らしさに気づけた。普段の学校生活でも、この体験で得た積極性と英語での会話の重要性、団結力を胸に、新たに前進していきたいと思う。また、この先、海外へ行く機会や仕事をするうえで、今回の学びを生かしていきたい。

カナダ研修は僕にとって、新たな積極性と、今までには無かった様々な人々との交流、その中から未知の概念を与えてくれる研修であった。